| | | |
|---|---|---|
| 一五 | 二〇 | （二）九一・五 |
| 三・四を超え三・八以下 | 五 | （二）九五・五 |
| | 一〇 | （二）九二・三 |
| | 一五 | （二）九〇・五 |
| | 二〇 | （二）八九・二 |
| 三・八を超え四・一以下 | 五 | （二）九五・〇 |
| | 一〇 | （二）九一・八 |
| | 一五 | （二）九〇・〇 |
| | 二〇 | （二）八八・七 |
| 四・一を超え四・五以下 | 五 | （二）九五・五 |
| | 一〇 | （二）九二・三 |
| | 二〇 | （二）八九・二 |

イ　ブロッキング特性

［ア　略］

(イ)　陸上移動局のブロッキング特性

(i)　一の搬送波を受信する場合（二、三三〇MHzを超え二、三七〇MHz以下の周波数の電波を受信するものに限る。）

基準感度より次の表の二の欄に掲げるデシベル分高い希望波（符号化率が三分の一であつて、四相位相変調の信号で変調された搬送波）に対し、同表の一の欄に掲げるチャネル間隔に応じた同表の三の欄に掲げる離調周波数だけ離れた周波数において五MHz幅の変調された第一妨害波を（一）五六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。以下この(i)において同じ。）の電力で加え、同表の四の欄に掲げる離調周波数だけ離れた周波数において五MHz幅の変調された第二妨害波を（一）四四デシベルの電力で加えた場合において、各スループットがその最大値の九五％以上であること。

| 一　チャネル間隔（MHz） | 二　希望波の受信電力と基準感度の差分（dB） | 三　第一妨害波の離調周波数（MHz） | 四　第二妨害波の離調周波数（MHz） |
|---|---|---|---|
| 五 | 六 | 一〇 | 一五以上 |
| 一〇 | 六 | 一二・五 | 一七・五以上 |
| ［略］ | ［略］ | ［略］ | ［略］ |

(ii)～(iv)　略

イ　［同上］

［ア　同上］

(イ)　［同上］

(i)　［同上］

［同上］

| 一　チャネル間隔（MHz） | 二　希望波の受信電力と基準感度の差分（dB） | 三　第一妨害波の離調周波数（MHz） | 四　第二妨害波の離調周波数（MHz） |
|---|---|---|---|
| 一〇 | 六 | 一二・五 | 一七・五以上 |
| ［同上］ | ［同上］ | ［同上］ | ［同上］ |

(ii)～(iv)　同上